

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

138号

2012年2月27日



ときわ台の景観を守る会

ときわ台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 暫定駐輪場撤去決まる

公園と小学校の間の暫定駐輪場は今年3月いっぱいまで廃止の予定です。

新しく設置される三井住友銀行脇の駐輪場の料金が以下のように決まりました。

1日	=	100円
1ヶ月	=	2000円
3ヶ月	=	5600円
1年	=	10400円

申し込みは線路脇の常盤台第一駐輪場で、3月17日から受付けるそうです。

今まで便利に無料で駐輪していた人には、若干の抵抗があるでしょうが、もともと道だったところを復元するのですから、撤去にはぜひ協力してほしいものです。

新しい駐輪場に全て移動できるかは不確定ですし、街なかには不法駐輪が増え続けています。区が、引き続き駐輪場の開拓に努力することを望みます。

○ 「景観市民全国ネット」 常盤台での定例会

1月14日(土)午後、常盤台で景観市民全国ネットの定例会が行われました。

会議の前に常盤台の街歩きを企画、15名ほどの人たちに問題のマンションの周囲や住宅地を歩いて実感してもらいました。

幾人かの感想を記します。

- ・ 曲線の道が心地良く、よく分譲当時を保っている。桃源郷のような気がする。
- ・ 駅前の高層ビルはやはり駄目。ダウンゾーニングは難しいが、建ててしまったのは失政。
- ・ これからは景観だけでない生き方としてのまちづくりを考える必要がある。
- ・ 世代交代を視野に入れた活動が大事だ。
- ・ 行政との関係が大事。などなど・・・

ある若者の意見が印象に残りました。東上線沿線に住んでいるが、常盤台でかなり若い人が降りる。アパートやマンションが増えているようだ。しかし自分を含め、街に定住することはほとんどない。常盤台はファミリーが住まないとい今の環境は維持できないと思う。というものです。どう思いますか？

○ なんとかしませんか？

クルドサックのゴミ置き場

常盤台の街の優れた構造に、フランス語で袋小路を意味するクルドサックがあります。

まちを一周するプロムナードや、ロードベイ・フットパスなどと共に、設計者小宮賢一が海外のまちにヒントを得て取り込んだ街の仕組みです。

真ん中に小さなロータリーを設け、車廻しの道がぐるりとあり、奥には火災時などの避難用に、細い小道(フットパス)が設けられています。前野町に近い一番小さなクルドサックだけにはフットパスがついていませんが。クルドサックは一丁目にも全部で五ヶ所あります。二丁目にも計画されたことがあったようで、昭和十四年の東武鉄道の常盤台分譲案内図に載っていますが、実現しませんでした。

そのようにユニークで、知る人ぞ知るクルドサックなのですが、残念ながらゴミ置き場になっていたり、数ヶ所あります。まちの人のみならず常盤台に興味を持って訪れてくる人は、異口同音にあれは何とかならないのですか？と言っています。

この街は東京都の景観重点地区にも指定されているのですから、なんとか解決しようではありませんか。

「原発」条例請求都民投票

原発の稼働について都民が直接請求できるよう求める運動です。大阪に続き東京も二月二十二日現在で、署名が33万1809筆となり、法廷署名数21万4236筆を上回りました。

“古着買います”に“用心”

D屋という業者が電話で古着でも何でも買取ります、というので来てもらいました。ところが古着はそっちのけでアクセサリーなどの貴金属はないかと言います。奥で調べて欲しいとしつつく、その場を離れた際に何されるか解らないと思、「ありません！」ときっちり断ったので帰って行きました。電話での勧誘はすべてお断り”が正解でした。反省を込めて。

二丁目でボヤ

二月十七日夜、二丁目でボヤ騒ぎがありました。たいした被害もなかったのですが、消防車が何台も来て、ご近所は驚いたようです。

流感も「注意

火事の心配もさることながら乾燥が激しいと風邪も流行ります。常盤台小学校でも二一日から四日間学級閉鎖があったということです。外出から帰ったら手洗い、うがいの癖をつけ、水分をとって喉を常にうるおしておく、ウィルスが取り付かないようです。ヨーグルトが風邪予防になるのは、菌の種類にもよるそうです。

読者の声

“まちづくりニュース”を毎号、興味深く拝読しております。

まず、グリーンの用紙が他のちらしと区別できて良いですね。(ちらしはすぐに捨てます)

少し旧くなりますが、昨年十一月三十日号の(公園トイレでの自殺事件)は御紙への掲載はプライベートなことなのでこのニュースに載せて知らせるべきでないという意見があるようですが、住民にとっては良いことも、悪いことも正しく知りたいと思う方が多いのではないのでしょうか？

又、公園という公的な場所でのことです。で、プライベートなことではないと考えます。小さい子供を持つ親御さんに聞いた所、私と同じ意見でした。「内容により注意できるしね」とのことです。

最近、新住人になられた方に、偶に表札がないお宅をみかけます。なんだか拒否されているようで寂しい感じがしますがこれも(プライベートなことであり、プライバシーに関すること)なのでしょう？深く考えると難しくなりますが、案外直感が正しいのかも知れません。

新年早々、好きなことを書かせていただきました。良い年になりますよう。

(一月号に間に合わず、終わりが季節外れの言葉になってしまった事お詫び致します。)

常盤台公園のはなづくり

私たちがボランティア活動を始めたきっかけは、公園の改修に先立って行われたワークシヨップでした。公園課では、直ぐボランティアの会ができることを期待していたのではないかと、思いますが、その時は公共のことは税金を使っている区の仕事、という認識が強かったのです。ワークシヨップが解散した後、タカラレーベンのマンシヨン紛争が起き、色々なケースを知る中で、街を大事にする気持ちは行動で表しておかねばならない、と感じました。

常盤台の住民は行動することが苦手です。下町のように腰が軽くないのです。お祭りでおみこしの担ぎ手がないことでもよくわかります。しかし、街を愛する気持ちの人は大勢いるのです。

公園の角の花壇を世話する団体を作ってくれないか、という話があった時、ボランティア活動をも良いと言っていたSさんが直ぐ頭に浮かびました。Tさんが喜んで参加してくださり、初めの呼びかけには七、八人も集まったでしょうか。残った数人が手入れをしている姿を見て、Kさんが、そしてYさんが加わって来ました。別のTさんも途中参加組ですが、今ではご存知のように専業のように活動しています。

定例会三月一七日(土) 七時

「ギャラリー服部」にて